

:: 離断性骨軟骨炎 (Osteochondritis dissecans)

Orpha 番号 : ORPHA2764

疾患定義

離断性骨軟骨炎 (osteochondritis dissecans : OCD) は、後天性かつ特発性の軟骨下骨の壊死性病変に腐骨形成を伴うことを特徴とし、その腐骨が剥離して関節内で遊離体を形成することのある、まれな骨疾患である。OCD は主に膝関節、足関節、および肘関節に発生し、疼痛、機能制限、および二次性の変形性関節症に至ることがある。

日本語翻訳版の監訳 :

- 富田 哲也
(難治性疾患政策研究班「強直性脊椎炎に代表される脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模多施設研究」)

最終更新日 : 2015 年 3 月

翻訳日 : 2019 年 3 月

本要約の翻訳は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) からの資金援助の下で行われています。



本要約は情報の提供を唯一の目的として公開しているものです。専門医による医学的ケアの代わりとなるものではありません。本要約を診断や治療の根拠とすることはお控えください。



この情報は、フランスの Orphanet から提供されており、原文 (英語) がそのまま日本語に翻訳されています。このため、国内で配信されている他の媒体と一部の内容が異なる場合があります。保険適用に関する診断基準など、国内の医療制度に準拠した情報が必要な場合は、厚生労働省の補助事業により運営されている難病情報センターや小児慢性特定疾病情報センター等の専門情報センターのホームページをご参照ください。



Find more information on the disease and associated services on www.orpha.net